

連体修飾形式「的な」の 文末用法

張明

◆要旨

本稿は、文末に用いられる「的な」を考察対象とし、話し言葉から採集された例文に基づき、詳細な分類を試みるものである。まず、「現状と事態Xとの関係」を基準に、「推量・比喩・婉曲」に3分類し、さらに、事態Xがどのように提示されたのかを基準に、「要約・具体化」に2分類する。これによって6種類に分類することになる。また、2つの軸からそれぞれ、「現状が事態Xに見える」と「現状を事態Xに言い換える」といった基本的意味を抽出する。「現状と事態Xとの関係」からみた分類と「事態Xがどのように提示されたのか」からみた分類は、緊密な関係にあり、また異なる観点からの分類であるため、両立しうるものである。

◆キーワード

漢語系接尾辞、的、文末用法、みたいな

◆ABSTRACT

The aim of this paper is to make a detailed classification of “-tekina” which appears at end of a sentence. On the baseline of the relationship between the present situation and the matter-X, “-tekina” can be classified into three types: inference, metaphor and euphemism. By the descriptive approaches of the matter-X, “-tekina” can be classified into two types: summary and exemplification. Therefore, there are six types in total. Next, based on the two generalized standards of classification, the basic meanings of “the present situation looks like the matter-X” and “the present situation is rephrased in the form of the matter-X” are extracted. Because the two generalized standards are closely related and distinctly classified, the two can be co-founded.

◆KEY WORDS

Sino-Japanese suffix, *teki*, the final usage, *mitaina*

The Final Usage of the Attributive Form “-tekina”

MING ZHANG

1 はじめに

漢語系接尾辞「的」は造語力が活発で、名詞と結合した合成語全体を形容動詞にする品詞転換機能を有し、多くの研究がなされてきた。名詞を修飾する場合は、「魅力的な話」「経済的な人間」のように「的な」となるが、これを連体修飾形式「的な」の接尾辞用法^[註1]と名付けておく。

また近年、漢語系接辞の助辞化現象が注目され、山下(2013:86)は、「語のレベルを超え、句または文レベルの言語単位に結合して助辞的な機能を発揮すること」を「文法化機能」と呼び、漢語系接辞の造語機能の1つとしている。

(1) 男のコロシ文句は直球型が多いが、それに比べて女のほうは、「課長の背中見ているの好きなんです」式のひねりのきいたものが目立つ。

(山下2013:例文3)

「的」も文法化機能を持つ漢語系接辞の1つである。文法化機能を発揮する「的な」を助辞化用法と呼んでおく。

文法化機能を持つ漢語系接辞は少なからず存在するが、接尾辞「的」には、ほかの文法化機能を発揮する接尾辞と異なる性質が見られる。それは連体修飾形式「的な」の後ろに名詞を伴わず、文を終える用法である。これも、連体修飾形式「的な」の助辞化用法といえるが、本稿では、便宜上、文末用法と呼ぶ。

これら「的な」の3つの用法をまとめると、以下の表ようになる。

表1 連体修飾形式「的な」の用法

用法	前接部分	連体修飾形式	後接部分	用例 ^[註2]
接尾辞用法	語レベル	的な	語レベル	・魅力的な話 ・経済的な人間
助辞化用法	① 句レベル 文レベル		語レベル	・「町内会の会長さん」的な役割 ^[註3] ・「皆がやっているから私もやる」的な発想 ^[註4]
	② (文末 用法)		なし(「的な」 という形で文 を終える)	・同棲的な? ^[註5] ・私へのはなむけ的な。 ^[註6] ・何か教えてくれる的な ^[註7]

本稿は、文末に用いられる「的な」を考察対象とし、記述的観点からその分類を試みる。従来の用法から逸脱した用法にも規則性があると考え、「逸脱」の中に潜む「規則」を見出し、積極的な文法論的記述の必要性を主張したい。

2 先行研究

「的な」の文末用法を研究対象として論述したものは管見の限り、斬(2012)のみである。斬(2012)は「的な」のぼかし機能と表現の簡潔性及びそれらの融合に見られる発話効果を中心に、「形式」「意味」「統語」「語用論」の面から、どのような特徴が見られるのかを説明するが、個々の例文は詳しく検討されていない。個々の例文を重視し、詳細に記述する必要があるのではないか。

また、本稿でいう「助辞化用法①」を研究対象とした山下(2000)では、「X的(な)Y」における「的」の果たす機能と意味について考察している。

新しい用法は従来の用法から発展し、連続的に捉えられるのが一般的である。接尾辞「的」の通常の用法についての代表的な論考である山下(1999)によると、連体修飾用法は、全体の使用率の半数以上を占め、「「的」の基本機能は連体修飾成分を構成すること」(p.33)がわかった。また「「的」が比喩を表す助動詞と同じ役割を果たす」(p.33)ことにも注意する必要がある。

3 分類基準I：現状と事態Xとの関係

文末用法の「的な」は「ような」という意味で使われることがほとんどであるため、「ような」の意味用法がどのように記述されているのかは本稿に大きな示唆を与えている。森山(1995)では、「XようなY」という形式が「X」と「Y」の関係を基準に分類される。しかし、文末用法「的な」においては、主名詞の役割を果たす「Y」がそもそも存在しない。よって「X的な。」^[註8]という形式を分析する際、分類する基準を「現状と事態Xとの関係」とする。

現状と事態Xとの関係は、論理的に3種類に分けられる。第一は「現状と事態Xとの関係は不明、未確定である」という場合(現状⇄事態X)、第二は「現状と事態Xは何らかの関連性を持っているものの、性質上では、違うものである」という場合(現状≠事態X)、第三は「現状はまさに事態Xであり、現状と

事態Xは一致している」という場合（現状=事態X）である。それぞれ「推量」、「比喩」、「婉曲」と名付ける。

3.1 推量

現状と事態Xとの関係が不明、未確定である場合、「的な」は推量を表す。

(2) 段田「それから、もしよろしければ、それを使って料理をいくつかお教えいただきたいんですが…」

南三條「あ～ら、それは、あの…あれ？ いきなり「お袋の味を学んじゃうぞ」的な？」（『ダンダリン 労働基準監督官』第6話）

(3) 「東京で借りようと思ってるマンションさ、部屋いっぱいあるから。1部屋貸してあげるよ」「えっ!? ちょっと待ってください。それって、ちょっとした同棲的な……？」（『海の上の診療所』p.139）

例文 (2) (3) は相手の発話からの推量である。相手の発話を受けて、発話者は、「相手は「お袋の味を学んじゃうぞ」（=事態X）というようなことを考えているのではないか？」「相手の発言は「同棲」（=事態X）という意味ではないか？」と推測し、「的な」をつけ、相手に自分の推測を確認する。現状が本当に「お袋の味を学んじゃうぞ」かどうか、「同棲」かどうかは相手にしかわからず、発話者には不明である。このような現状と事態Xとの関係を推量と呼ぶ。

(4) 箱の大きさと形からして、給料3か月分的な（『恋するイヴ』）

これは外見や様態からの推量である。婚約指輪は「給料3か月分」だという常識があり、婚約指輪のことを「給料3か月分」と表現している。箱の外見の要素から、もしかしたらこれは婚約指輪ではないかと推量する例である。

(5) 「潤と留美さんと拓海さん、知り合いなの？」

ERENAが訊くと、レミ絵は「潤って10年前にうちの編集部でインタ

ーンだったんだって。その頃の同期的な」と返して、……（下略）。

（『ファースト・クラス』p.186）

例文 (5) はある根拠による推量である。「10年前にうちの編集部でインターンだった」という事実から、潤は留美や拓海と同期ではないかと推量する例である。事実かどうかは本人に確かめなければわからない。現状と事態Xとの関係は不明であり、「的な」は推量を表している。

3.2 比喩

現状と事態Xは何らかの関連性を持っているものの、性質上では、違うものである場合、「的な」は比喩を表す。

(6) 「『FIRST CLASS』は……即廃刊、編集スタッフは全員解雇です」……（中略）「……ERENAの関係者が雑誌を買い占めていることがわかったの。……」……（中略）「社長にリークした人間がいるのよ」留美が言い、「だいたい想像つくでしょ」と小夏が続けた。レミ絵か。ちなみは唇を噛んだ。当のレミ絵は、編集部からガラス越しにちなみを見て、くはい、皆さんご一緒に『大どんでん返し！』秒速でホームレスになりました的なと浮かれていた。（『ファースト・クラス』pp.270-271）

「雑誌は廃刊、スタッフは解雇」といっても、職を失うだけで、実際にホームレスになるわけではない。「ホームレスになる」は「職を失う」の1つの喩えとして使われただけである。現状（=職を失う）と事態X（=ホームレスになりました）は似た面があるが、違うものである。このような場合を比喩と呼ぶ。

(7) 矢巾：京谷…岩泉さんに色々勝負ふっかけて尽く負けてから 岩泉さんにだけは従うのな…

国見：狼社会的な…？（『ハイキュー!!』第15巻 p.137）

「勝負ふっかけて尽く負けてから岩泉さんにだけは従う」という状況は「狼

社会」と共通するところがある。だが、あくまでも人間の話であり、狼社会の話ではない。現状と事態Xは異なるものであり、比喩である。

3.3 婉曲

現状はまさに事態Xであり、現状と事態Xは一致しているという場合、「的な」は婉曲を表す。

(8) 双葉「こうするといいいよとか、ないんですか？ 何か教えてくれる的な」

深見「…無理っす。自分 釣り やんないんで。」

(『それでも、生きてゆく』第4話)

これは相手に釣りをうまくやる助言を求める会話である。現状「助言が欲しい」と事態X「何か教えてくれ」は一致する。このような場合を婉曲と呼ぶ。現状と事態Xが一致するなら、「的な」を用いず、「何か教えてください！」と言えよのだが、「的な」をつけることによって、相手に断る余地を与えたり、自分の要求を柔らかくしたりする効果が見られ、まさに、婉曲といえる。

(9) 大場「何かいってほしいなって、その前に。」

今井「何かって？」

大場「例えば、愛してる的な…」

(『リバウンド』第7話)

発話者は「その前に、「愛してる」といってほしい」と思っている。しかし、「愛してる」という言葉を直接言い出すのは相手に押しつけがましく思われる恐れがあるため、「的な」をつけて、自分の主張をぼかしている。

(10) 田中「職場の不倫は労災じゃないかって奥さんから。そこから夫の浮気について延々相談されちゃいましたよ。「私の結婚は間違いだったんじゃないでしょうか？」的な。」

(『ダンダリン 労働基準監督官』第7話)

奥さんの現実の発言は事態Xである「私の結婚は間違いだったんじゃないでしょうか？」と全く同じとは限らないが、発話者は奥さんの発言をすべて聞いているため、現状と事態Xが一致するという関係を認めてもさほど問題がないだろう。よって、(10)のように、直接話法に近い用法も婉曲とする。

(10)のような例文は次の(11)のように、「ような」にも見られ、高橋(2009)はそれを「概要」と分類しているが、本稿では、高橋(2009)でいう概要用法を婉曲の一種類とする。

(11) 筆者が昔読んだ詐欺の手口を書いた本に、「一流の詐欺師は日頃は正直で小さな嘘はつかない、周囲に信頼されるような人だ。彼は本当に必要なときに備えて、信頼を蓄積している…」というようなことが書いてあったのを思い出す。

(高橋2009:例文29)

以上、現状と事態Xとの関係を基準に、文末の「的な」を「推量・比喩・婉曲」の3つに分類した。しかし、例文(9)を見てみると、「例えば」という語があり、「いってほしい」の一例として、「愛してる」を挙げている、すなわち「例示」ともとれる。1つの例文で婉曲と「例示」というような意味が同時に表されることから、1つの基準での分類は不十分だと思われる。文末に用いられる「的な」の意味用法の全貌を明らかにするには、別の観点でさらに分類する必要があると考えられる。

実は、「ような」の意味・機能を分析した安田(1997)も、本稿と同じ問題に直面し、「ような」は様態・比喩用法や内容の名付け用法であると同時に、例示の意味も持つことが観察されている^[註9]。よって、本稿は安田(1997)の主張した「二重構造」を視野に入れ、基準Iとは別に、「基準II：事態Xがどのように提示されたのか」という軸を立て、もう1つの基準を用いて分類を試みる。

4 分類基準II：事態Xがどのように提示されたのか

先行文脈を受け、事態Xがどのように提示されたのかについて2つの場合が考えられる。第一は事態Xが要約されて、まとめとして提示される場合、第二

は事態Xが具体化され、具体例として提示される場合である。それぞれ「要約」、「具体化」と名付ける。

4.1 要約

ある事態や内容を説明する際、具体的すぎると説明が長くなり、わかりにくくなることもある。そのとき、要約したり内容を凝縮したりして提示することがある。冗長な先行文脈を受け、事態Xに「的な」をつけ、事態Xが概括されて提示される。これを要約と呼ぶ。

(12) マツコ：はい、今から楽屋去ります。何って言う？

村上：おつ加齢臭。

マツコ：(村上に) 耳裏プンプンって言い返してくれるから。向こうが言い返してくれるから。(スタッフに) おつ加齢臭って言ったら、そういうことだもんね。あれは、きつとね。一人で言うんじゃないよね。

スタッフ：コール&レスポンス的な。

(『月曜から夜ふかし』2015年4月6日放送)

「おつ加齢臭」を言ったら、相手も「耳裏プンプン」と言い返してくれる」という具体的な状況を「コール&レスポンス」という短いフレーズで要約することができるということを「的な。」が表している。「的」は元来抽象的な意味を表す名詞と結合する漢語系接尾辞であるため、抽象化したり要約したりする機能を持ちやすい。また、3節の分類基準Iで考えると、「おつ加齢臭」と言ったら、相手も「耳裏プンプン」と言い返してくれる」という具体的な状況を「コール&レスポンス」という演奏の楽式に喩えているので、比喩になる。例文(12)は比喩と要約が重なる例文である。

(13) 天の声：「上野東京ライン」も不正解でした。

ヒャダイン：「上野東京ライン」わかってたけど、「ライン」がついてると思ったんで、「とうきょう」の「き」…

おおたわ：そういう凡ミス的な? (『ネブリーグ』2015年4月27日放送)

相手は、自分がなぜ間違っただのかを具体的に説明し、発話者はそれを聞いて、相手が述べた具体的な状況を「凡ミス」という1単語に要約している。また、3節の分類基準Iで考えると、「的な」をつけて、相手に確認する意図で発話する。つまり、「先に述べた状況を、私は「凡ミス」と理解してもいいのか」という自分の推測を相手に確認する推量と考えることができる。例文(13)は要約と推量が重なっている。

先述の例文(4)のように、箱の形や大きさなど具体的な様態を「給料3か月分」という言語化(抽象化)する例も要約と考えられるため、例文(4)は推量と要約が重なっている。

4.2 具体化

上述した要約とは逆に、いきなり抽象的な概念や要約された説明を受け、発話意図が伝わらないときに、具体的な説明を加えたり、具体例を提示したりする方法がある。これを具体化と呼ぶ。

(14) りさ「いつから好きなの、先生のこと！」

半田「あ、最初の授業の時からです」

× × × (回想)

りさ「先生は処女です!!」のひと言で、生徒を黙らす。

× × ×

半田「衝撃でした……なんか、うまく言えないけど、不意打ちって言うか、『北斗の拳』で言うところの生気に戻す秘孔を突かれた的な……あ、処女だからって意味じゃないですよ！」

(『日曜劇場ごめん青春!』p.139)

「衝撃」や「不意打ち」などの抽象的な表現では、自分の気持ちが伝わりにくいため、具体的な説明である『北斗の拳』で言うところの生気に戻す秘孔を突かれた」を加えて相手に提示する。また、3節の分類基準Iで考えると、

実際に「生氣に戻す秘孔を突かれた」わけではないため、1つの喩えとして使われた比喩でもある。

また、いわゆる「例示」は、具体例を提示するという意味で、具体化の1つの手段としてよく使われる。よって、本稿では、「例示」を具体化の下位分類に位置づけることにする。

(15) 土田「(少しにやにやししながら) 何してるんだ？」

たま子「お店の準備です」

土田「店？ 何の？ (と、上を見ようとする)」

星野、痛車を見て、思い当たって。

星野「あ、あれじゃないですか、あの、メイドカフェ的な」

(『問題のあるレストラン1』p98)

「何の店なのか」というと、一例を挙げれば、「メイドカフェだ」というように理解することができ、事態Xである「メイドカフェ」は「店」の具体例として挙げられる。よって、「的な」は例示を表し、具体化する用例である。また、分類基準Ⅰで考えると、現状は何の店なのか、本人でなければわからないため、「痛車」を根拠に「メイドカフェだろう」と判断したという、推量でもある。

例文(10)も、「相談」という抽象的な語を、「私の結婚は間違いだったんじゃないでしょうか？」と具体的に説明し、具体化と理解できる。婉曲と具体化が重なる例文である。

以上、事態Xがどのように提示されたのかを基準に、文末の「的な」を「要約・具体化」の2つに分類した。

5 文末用法「的な」の基本的意味

上述したように、「現状と事態Xとの関係」と「事態Xがどのように提示されたのか」といった2つの基準から文末用法「的な」を分類して考察したが、それぞれの分類からどのような基本的意味を抽出できるだろうか。

大場(2002)では、「ようだ」の基本的意味は「現状が事態Xに見える」と述

べている。現状と事態Xとの関係を基準に、「推量・比喩・婉曲」に3分類した「的な」も、基本的意味はそれと同じであろう。

また、事態Xがどのように提示されたのかを基準に分類した「的な」は「要約・具体化」を表す。要約も具体化も前文脈が示す状況(=現状)を別の言い方(=事態X)で提示するものであり、事態Xは前文脈が示す状況の言い換えとなっている。よって、事態Xがどのように提示されたのかを基準に分類した「的な」の基本的意味は「現状を事態Xに言い換える」と考える。

「現状が事態Xに見える」からこそ「現状を事態Xに言い換える」ことができる。基本的意味「現状が事態Xに見える」と、「現状を事態Xに言い換える」は分類基準ⅠとⅡという異なる方向から抽出したものであり、現状と事態Xとの関連性を異なる面から表したものである。ゆえに、2つの基準からみた分類は緊密につながり、二重構造を示していると考えられる。

6 おわりに

本稿は、連体修飾形式「的な」を接尾辞用法と助辞化用法に分け、助辞化用法の②を文末用法と名付けて考察した。「X的な」を「現状と事態Xとの関係」を基準に「推量・比喩・婉曲」に3分類し、また事態Xがどのように提示されたのかによって、「要約・具体化」に2分類した。2つの側面から抽出した基本的意味は同じことであり、矛盾せずに両立しうる。その結果は表2のようにまとめられる。

表2 「的な」の文末用法の分類

		現状と事態Xとの関係(現状が事態Xに見える)		
		推量	比喩	婉曲
事態Xがどのように提示されたのか (現状を事態Xに言い換える)	要約	(2) (3) (4) (5) (13)	(6) (7) (12)	(8)
	具体化	(15)	(14)	(9) (10)

「的な」の文末用法は以上のように整理されるが、そもそも連体修飾形式で

ある「的な」が、なぜ文末用法を持つに至ったのだろうか^[注10]。また、助動詞「みたいだ」の連体修飾形式「みたいな」も文末用法を持ち、文末の「的な」と「みたいな」は意味用法において重なる部分が多いが、相違点もあるだろう。文末の「みたいな」と「的な」はどのような違いがあるのだろうか。文末の「みたいな」は「的な」より先に出現し^[注11]、浸透しているにもかかわらず、文末の「的な」が使われる意味はどこにあるのか。文末に使われる「的な」と「みたいな」の出現した経緯、および比較分析は今後の課題としたい^[注12]。

また、助辞化した接辞は「的」にとどまらず、「感」「派」「系」なども句・文と結合する例が増加している。それぞれ、どのような特徴があるのか、「的」と違う性質が見られるのかも今後の課題である。さらには、漢語系接辞のみならず、例文(16)のような助動詞化した和語系接辞も興味深い課題である。

(16) 今回 矢鱈読解問題が多かったっぽくて、西谷と同じで暗記系に絞ってみたいだから…
(『ハイキュー!!』第9巻 p.134)

〈学習院大学大学院生〉

付記

本稿は日本語／日本語教育研究会第7回大会(2015年9月27日於学習院女子大学)におけるポスター発表「連体修飾形式「的な」の文末用法」を加筆修正したものである。当日は参加者の方々に有益なご意見をいただいた。また、本誌の査読者の方々からも貴重なご意見をいただいた。心より感謝申し上げます。

注

- [注1] …… 「連体修飾形式「的な」の接尾辞用法」を便宜上、「接尾辞用法」と省略する。以下の「助辞化用法」と「文末用法」も同様。
[注2] …… 下線は筆者による。以下も同様。ただし、引用参考文献より引用した例文の下線は当該著者による。
[注3] …… 出典は山下(2000:59)の例文20。
[注4] …… 出典は山下(2000:61)の例文25。

- [注5] …… 例文(3)を参照。
[注6] …… 出典は『ファースト・クラス』p.283。
[注7] …… 例文(8)を参照。
[注8] …… 文末用法の「的な」の後ろは必ず「。」とは限らず、むしろ、疑問符「？」のほうが多い。「。」というマークはここでは「文を終える」という意味を表す。
[注9] …… 様態・比喻用法であると同時に例示の意味も持つ例
(ア) 彼女はまるでナイチンゲールのような心優しい人です。
(安田1997:例文21)
内容の名付け用法であると同時に、例示の意味を持つ例
(イ) 渋谷や新宿のような若者でにぎわう町が好きだ。
(安田1997:例文29)

[注10] …… まず、従来、語と結合して合成語を形成する接尾辞「的」がなぜ句または文レベルと結合するようになったのかを考えなければならない。山下(2000)は、助辞化用法①の「的な」は引用機能を持ち、先行句を引用し文中に取り込むことができると述べている。名詞と直接結合する「的」が引用句とも直接結合するということは、引用句の品詞は名詞だということだろう。藤田(2000:59)によれば、引用句はアイコン記号であるため、通常の言語記号のような一定の品詞性をもつものではない。その品詞性は文中における分布によって相対的に決まる。つまり、引用句は、文中での形式や果たす機能により、副詞的に働いたり、用言的に働いたりすることができる。無論「その時の「ちょっと待て」に私は驚いた。」(藤田2000:例文17-b)のように名詞的に使われることも可能である。よって「的」と直接結合する引用句は、名詞的に機能すると考えられる。また、「的」はもともと接尾辞なので、名詞と直接結合する。引用句も名詞として機能することができるため、直接受けることができる。すなわち「的な」は、助詞や複合辞の介在なしに、名詞や引用句を直接受けることができる。同時にこのことは「的な」と意味的に類似しながら、なぜ「ような」が文末用法を持たないかという点からも裏付けられる。「「ような」では発話を直接受けることはできず、引用の助詞「と」の助けが必要」(大場2009:51)であるため、「ような」は文末用法を持たないのである。さらに、「X的Y」という構造において主名詞の役割を果たす「Y」がなぜ脱落するのかも考えるべき問題である。文末用法の「みたいな」も「的な」と同じ現象が見られ、このことを大場(2009)は、「 α みたいな β 」という構造で、 α が発話相当の場合には、名詞 β は、「こと」「考え」「感じ」など、漠然と発言・思考を指す語である場合が圧倒的である。つまり、 β は、発話・思考の内容を α として提示された後、その発話 α と類似した発話・思考の存在を述べているのみである。「みたいな」が α と β の間に類似を認める形式であることから、「 α みたいな」と述べるだけですでにそれと類似する発話・思考の存在 β が示されているとすれば、このような場合に名詞 β が脱落してもそれほど情報に不足が生じることはない(pp.53-54)と述べて

いる。「的な」の助辞化用法①は「みたいな」とほぼ同じ条件が備わっているといえよう。よって、「X的なY」という構造における主名詞「Y」が脱落する可能性が十分にあると考えられる。

[注11]……『現代用語の基礎知識』によると、文末の「みたいな」の見出しは1992年版が初出で、文末の「的な」の見出しは2012年版が初出であることがわかった。

[注12]……例えば、接尾辞「的な」の通常用法は抽象的な意味を表す名詞と結合することが多いため、文末用法になるとしても、抽象的な意味を表す語と結合しやすい。それに対し、文末の「みたいな」は、発話を受ける場合が圧倒的で、しかも、例示を表す用例が極めて目立っており、逆に要約としての使い方はあまり見られない。また、本稿の用例はテレビドラマやバラエティ番組から集めたものがほとんどで、音声を確認できるため、文末の「的な」が使われる文の最後に、上昇のイントネーションが多く、疑問符である「？」が頻繁に出てくる。それに対し、文末の「みたいな」の後ろには疑問符が少なく、下降のイントネーションで文を終える。こういった点についても、今後考える必要がある。

参考文献

- 大場美穂子 (2002) 「日本語の助動詞「ようだ」と「らしい」の違いについて」『マテシス・ウニヴェルサリス』3(2), pp.99-114. 獨協大学外国語学部言語文化学科
- 大場美穂子 (2009) 「文末に用いられる「みたいな」」『日本語と日本語教育』37, pp.43-59. 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 斬園元 (2012) 「「～的な」に関する一考察」『研究論集』12, pp.235-248. 北海道大学大学院文学研究科
- 自由国民社編 (1992) 『現代用語の基礎知識1992年版』自由国民社
- 自由国民社編 (2012) 『現代用語の基礎知識2012年版』自由国民社
- 高橋美奈子 (2009) 「「ような」の介在する名詞修飾表現「XようなY」について」『IBU四天王寺大学紀要』47, pp.285-297. 四天王寺大学
- 藤田保幸 (2000) 『国語引用構文の研究』和泉書院
- 森山卓郎 (1995) 「推量・比喻比況・例示—「よう／みたい」の多義性をめぐって」宮地裕・敦子先生古稀記念論集刊行会 (編) 『日本語の研究—宮地裕・敦子先生古稀記念論集』pp.493-525. 明治書院
- 安田芳子 (1997) 「連体修飾形式「ような」における〈例示〉の意味の現れ」『日本語教育』92, pp.177-188. 日本語教育学会
- 山下喜代 (1999) 「字音接尾辞「的な」について」森田良行教授古稀記念論文集刊行会 (編) 『日本語研究と日本語教育』pp.24-38. 明治書院
- 山下喜代 (2000) 「漢語系接尾辞の語形成と助辞化—「的な」を中心にして」『日本語学』19(13), pp.52-64. 明治書院
- 山下喜代 (2013) 「接辞性字音形態素の造語機能」野村雅昭 (編) 『現代日本漢語の探究』pp.83-108. 東京堂出版

用例出典

- 『月曜から夜ふかし』日本テレビ 2015年4月6日放送
- 『恋するイヴ』日本テレビ 2013年12月24日放送
- 『それでも、生きてゆく』フジテレビ 2011年7月～9月放送
- 『ダンダリン 労働基準監督官』日本テレビ 2013年10月～12月放送
- 『ネプリーグ』フジテレビ 2015年4月27日放送
- 『リバウンド』日本テレビ 2011年4月～6月放送
- 宮藤官九郎 (2014) 『日曜劇場ごめんね青春!』角川マガジンス
- 坂本裕二 (2015) 『問題のあるレストラン1』河出文庫
- 徳永友一・高橋れい子 (2013) 『海の上の診療所』扶桑社
- 古館春一 (2014) 『ハイキュー!!』第9巻 集英社
- 古館春一 (2015) 『ハイキュー!!』第15巻 集英社
- 渡辺千穂・木俣冬 (2014) 『ファースト・クラス』扶桑社

